



市議会議員
岩室 年治



はじめ 明子

逗子事務所 市政・生活相談所
逗子市沼間2-15-4 TEL71-1321 FAX73-4798

党くらしの相談窓口

総合病院誘致問題 地元説明会

市長の説明に納得できず、撤回の声

九日、沼間公民館で総合病院誘致問題で、横須賀北部共済病院が沼間三丁目地内にある第六小学校用地に移転を検討していることについて、地元アールヒル住宅地の住民を対象に説明

会を開き、約百八十人が参加し、市長の挨拶、福祉部長の経過説明と「総合病院に関する基本的な考え方」

について説明が行なわれました。沼間三丁目の町内説明会の予定は、十二日午後七時から沼間公民館です。

欠席予定の市長が出席 日本共産党が議会に要求

二月予算議会の中で、総合病院誘致問題について、市長は議会が「市長報告（市政の重要な問題を報告する）を求めたにもかかわらず拒否していました。

その後、代表質問や陳情審査等もありましたが、北部共済の意向が明確でないこともあって、十分な説明は行なわれませんでした。また、地元説明会の実施を決めましたが、市側は経過説明程度と考え、市長が出席をしないことを決めていました。

岩室年治議員は、討論の中で、行政と市民の対立、市民と市民の対立が生れか

ねないと懸念し、総合病院誘致は市長の政策判断、説明責任からも出席が不可欠と判断、出席を求める意見を述べました。

「総合病院誘致について地元では反対の声もあがっている。（略）市民合意を求める陳情も了承されている。（略）現在のような市長の対応を続けた場合、問題が混乱し、逆に誘致もできず、市政が停滞することに危惧する。早急に取り組むことは、市長自身が市民の所に足を運び、市民の中にはいつて市民の声を直接聞くことから初めるべきではないか」と要求しました。

突然の沼間への誘致計画 住民合意が前提ではないか

説明会での市民意見は：
●総合病院誘致が遅れているのは行政の責任、どんな病院を作るべきか市民参加で、また、環境への配慮（アセス）も必要。

●市長は、池子接收地への誘致に努力したのか。具体的に行動していないのではないか。
●国と交渉することが市長の責任、池子以外に求めた

場合に三十三項目の実現はどうか。
●市長の姿勢は、病院先にあるまでではないか、地元の住民合意をどうするのか。
●小学校が建つと聞いて宅地を購入し、安心していた。
●第6小用地は、市民要求にあったものと考えては。
●まちづくり（地区計画）に取り組んだ自治会にひびを入れたいほしい、池子であれば誰も反対しない。

日紙撤回してほしい。
●池子（接收地）に作ってほしいと願っているのに、今の計画を撤回してほしい。
●議会は陳情を了承、市民合意を求めている。市民合意はどうか。
様々な質問や意見が出される中で、市長は「全体をみる中で判断したい」と答弁し、地元の住民合意については言及せず、約束しませんでした。

「基本的な考え方」文書 議会に説明されていない

当日、配布された文書「総合的病院に関する基本的な考え方」は、金曜日にわざわざ議会側がポストに投げ

入れられたものです。内容は総合病院の背景、機能や診療科目、規模、運営主体、病院の運営などが書かれてい

日本共産党(岩室議員) 過去4年間の提案状況

逗子市議会に日本共産党の議席は一つですが、岩室年治議員は「謹願」の紹介議員、「意見書」「決議」

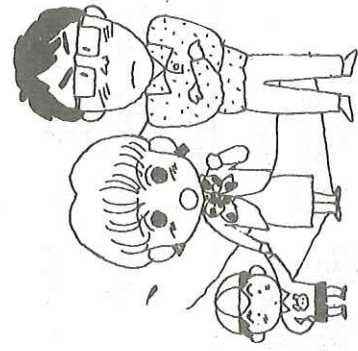
では他会派と共同して提案権を使い、国などには「意見書」を提出。市長等に対しては介護保険や温水プー

日本共産党(岩室年治)の 謹願・意見書・決議提案調べ		代表者	提案数	提出数
請願	4	10	5	4
意見書	7	27	12	7
決議	7	20	12	7
計	18	57	29	18

※「陳情」の了承に伴う委員会提案の場合は、所属委員でない提案者になれませんか。※代表者は提案の趣旨説明を行なう者です。

ました。これまで全く明らかにしてこなかった基本方針を説明会にあわせて作り、改選前の議会へは形式的に配布されたものです。

日本共産党は、誘致方法（場所を含め）と病院機能などをオープンな形で、市民、行政、医師会が共同で検討することを求めています。



ル設置、間質等の「決議」を提案。その内の3割の発議者代表（説明者）を行なっています。

日本共産党が2議席になれば、発言力が増すだけでなく、独自に提案権を行使でき、「条例」や「動議」の提案もできることとなります。市民の暮らしを守る立場から積極的な活動が取り組めます。

(裏面に一覧表を掲載)

ご一緒に考えましょ
日本を改革する道

しん赤旗

日刊・月2,900円
日曜版・月800円

